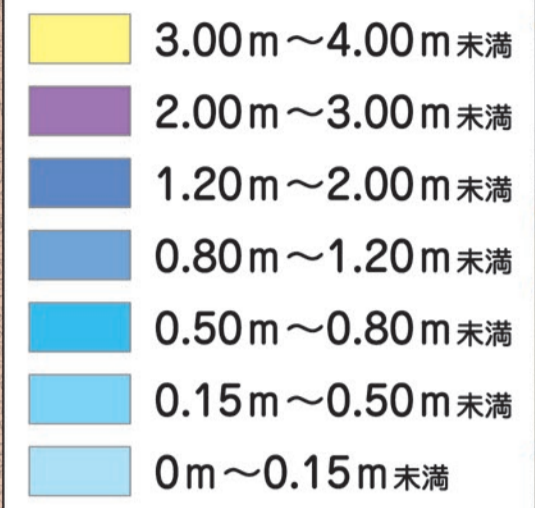


金沢区津波ハザードマップ(北部)

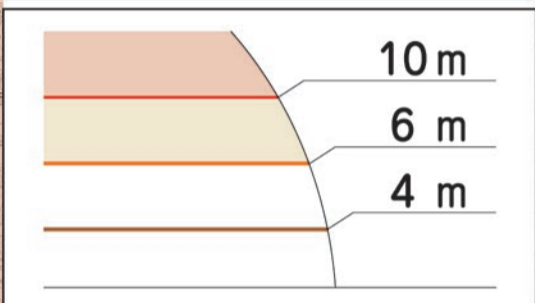
海岸付近で強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、
ただちにその場から離れ**高い所**へ避難を!

避難対象区域

神奈川県が想定した慶長型地震の津波による浸水予測区域(浸水深)



海拔ライン



1 : 7,500

津波避難施設(公共施設)

番号	施設名称	受入可能時間	索引
1	いきいきセンター金沢	月~土 9:00~21:00 / 日祝日 9:00~17:00	D-9
2	金沢区役所	24時間365日	D-9
3	金沢高等学校	24時間365日	C-9
4	金沢小学校	24時間365日	D-9
5	県立金沢総合高等学校	24時間365日	E-5
6	市営金沢住宅(高層棟)	24時間365日	E-4
7	市営金沢第二住宅	24時間365日	F-3
8	瀬ヶ崎小学校	24時間365日	C-12
9	中央卸売市場南部市場 水産棟	24時間365日	E-2
10	中央卸売市場南部市場 青果棟	24時間365日	E-2
11	並木第一小学校	24時間365日	F-4
12	並木中央小学校	24時間365日	F-4
13	八景小学校	24時間365日	D-9
14	六浦地区センター	月~土 9:00~21:00 / 日祝日 9:00~17:00	B-11
15	六浦中学校	24時間365日	C-11
16	柳町コミュニティハウス	月~土 9:00~21:00 / 日祝日 9:00~17:00	D-10
17	柳町地域ケアプラザ	月~土 9:00~21:00 / 日祝日 9:00~17:00	C-10

津波避難施設(民間施設)

番号	施設名称	受入可能時間	収容人員	索引
1	ダイエー金沢八景店	10:00~22:00	約2,000	D-9
2	金沢シーサイドタウン(UR都市機構)	24時間365日	—	F-8
3	金沢シーサイドタウン(UR都市機構)	24時間365日	—	F-3
4	金沢シーサイドタウン(UR都市機構)	24時間365日	—	F-4
5	新杉田駅	24時間365日	1,000	C-2
6	南部市場駅	24時間365日	300	E-2
7	鳥浜駅	24時間365日	100	F-3
8	並木北駅	24時間365日	200	F-4
9	並木中央駅	24時間365日	500	F-5
10	幸浦駅	24時間365日	400	F-6
11	産業振興センター	24時間365日	400	G-6
12	福浦駅	24時間365日	300	G-7
13	市大医学部駅	24時間365日	300	G-8
14	八景島駅	24時間365日	500	F-8
15	海の公園栄口駅	24時間365日	100	E-8
16	海の公園南口駅	24時間365日	200	E-9
17	野島公園駅	24時間365日	300	E-10
18	金沢八景駅	24時間365日	300	D-10
19	関東学院大学 金沢八景キャンパス	24時間365日	約1,400	D-11
20	ダイクマテックランド横浜金沢店	24時間365日	約3,000	F-3
21	独立行政法人海洋研究開発機構 横浜研究所	24時間365日	約100	D-2
22	ピアレヨコハマ新館・新館	24時間365日	約10,000	F-5
23	三菱重工株式会社横浜製作所金沢工場	24時間365日	—	G-4
24	日本発条株式会社 横浜事業所	24時間365日	約300	G-8

※この図に示す浸水予測区域等は、シミュレーション結果によるものです。実際の津波発生時には、この図に示す浸水よりも、広い範囲が浸水したり、浸水深が深くなる場合があります。

金沢八景

逃げよう！
できるだけ高い所に！

金沢区 津波ハザードマップ

発行/横浜市金沢区役所 総務課 TEL.788-7706
平成25年1月発行

横浜市立大学美術部作成

～津波ハザードマップのご活用について～

この度の「金沢区津波ハザードマップ」は、区民の皆様へ、津波への備えにご活用していただくために作成しました。被害を最小限に抑えるには、ぜひ、以下のご留意いただき、ご家庭や地域の防災活動に生かしていただきましょう。

- お住まいや学校、勤務先など日常の生活圏が浸水エリアにあるかどうかをご確認ください。
- 避難場所の把握や避難経路などをご確認ください。
- 日頃から地域で行っている防災訓練などに積極的にご参加ください。

平成25年1月 金沢区長 林 琢己

このハザードマップは、平成23年度に神奈川県が想定した津波のうち、横浜市にとって浸水面積及び浸水深が最大となる「慶長型地震」による津波モデルを基に、避難場所やポイント毎の海拔などを新たに表示したものです。

津波浸水予測の条件		より早く、より高い場所への避難
地震のモデル	慶長型地震	地震による大きな揺れを感じたり、津波警報などの情報を得たときは、直ちに避難することを判断し、①海拔5m以上の高台又は②鉄筋コンクリート若しくは鉄骨鉄筋コンクリート造の頑丈な建物の3階以上を目安に避難してください。
マグニチュード	8.5相当	
予測される最大津波高	約4.0メートル	
満潮時に到達する海拔[注]	約4.9メートル	

[注]満潮時(横浜港の観測平均満潮時=東京湾平均海面(T.P.)+0.9m)に津波が到達する海拔

◆津波警報伝達システムの設置◆

大地震による、津波の発生が予想される場合に、区民の皆様が少しでも早く避難行動がとれるよう、屋外スピーカーを使って、避難を呼びかける「津波警報伝達システム」を設置しています。本システムは、気象庁から発表される津波警報を受けて、設置したすべての屋外スピーカーから自動的に津波警報、避難勧告・指示等の緊急情報を一斉に放送します。

柳町コミュニティハウス

◆海拔標示の設置◆

海拔標示は、地域の方々が避難する際の参考として、居住地域の海拔がどの程度であるか日頃から意識し、津波災害に対する警戒と防災意識を高めるために設置したものです。

この地盤は
約1.0m
Above Sea Level

海拔 1.0m

金沢区

この地盤は
1メートル
1 m above sea level

金沢区

○主に自治会・町内会の掲示板等に設置しています。
※デザインは横浜市立大学及び関東学院大学の美術部の学生が作成しました。
※設置単位は0mから10mまでとなります。

○主に沿岸区域の道路施設(道路照明灯、カーミラー)や防犯灯などに設置しています。
※海拔標示は、安全側となるよう階数を切り捨て、0.5m単位で低い方の海拔を表示していますことをご確認ください。

凡例

	津波避難施設(公共施設)
	津波避難施設(民間施設)
	地域防災拠点
	津波警報伝達システム
	広域避難場所
	区界
	町丁界
	J R 駅
	私鉄駅
	各地点の海拔(単位:m)